

屋久島自然学校催行規定

1. 催行基準

ツアーを行うフィールドの地理、地形、気象、水面の状態、社会的条件等を充分考慮し、催行又は中止を判断する。

催行前の確認事項

天気予報：複数の天気予報サイトからその日の天気を予想する。警報発令の場合は中止または日程の変更を行なう。その後の天候の推移により悪化（警報発令）が予想される場合は中止とする。

気象庁天気予報 <http://www.jma.go.jp/jp/yoho/352.html>

tenki.jp 屋久島町の天気 <https://tenki.jp/forecast/9/49/8830/46505/3hours.html>

鹿児島地方気象台（屋久島地方）：09972-177

通行止め情報：悪天候時、落石などによる通行止めの可能性がある。

鹿児島県道路通行規制情報 <https://www2.pref.kagoshima.jp/dourokisei/Index>

ヤクスギランド・白谷雲水峡のお天気情報及び増水による通行規制情報

屋久島レクリエーションの森 保護管理協議会ホームページ <http://y-rekumori.com/>

縄文杉コース荒川登山バス運行状況

屋久島山岳部車両運行対策協議会

http://www.yakushima-town.jp/sangaku-syaryou/index.php?action=pages_view_main

鹿児島県河川砂防情報システム：河川の増水状況を確認する。

<http://www3.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/bousai/jsp/index.jsp>

◆沢登り、リバーカヤックツアーにおける催行基準

当日までの累積雨量や気象情報から判断し、河川の増水が予想される場合には中止する。判断に迷う場合には事前に必ず河川の状況を確認しに行く。また、ツアー中でも河川の濁りなど上流の増水（鉄砲水等）が予想される場合には直ちにツアーを中止する。

◆その他のツアーの催行基準

全ツアーフィールドにて、ツアー催行中、運行に支障をきたすような急速な天候の悪化などが予想される場合は直ちにツアーを中止、退避及び撤退する。

2. ガイド基準

ツアーに同行するガイドは以下の基準を満たした者とする。

- 屋久島町エコツーリズム推進協議会の「屋久島公認ガイド・認定ガイド・登録ガイド」のいずれ

れかに認められているもの又は屋久島観光協会ガイド部会に所属しているもの。

- 救急法に関する講習を受講しているもの。
- 屋久島ガイド心得、屋久島ルール等に同意しているもの。

リバーカヤック：JSCA ベーシックインストラクターの資格を保持するもの。

3. 安全管理

催行中に予想される危険性、危険個所をあらかじめ十分な説明をおこない参加者がそれを完全に理解するようにコミュニケーションを徹底する。

- ① 参加者の病疾患・当日の体調の確認
- ② コース上の危険性、危険個所の説明
- ③ 登山上の安全な歩き方の説明

※危険の予測・認知・回避に努める

◆催行データの蓄積

ツアー内で起きたヒヤリハットは必ずデータとして蓄積する。データは解析し、危険認知・回避に役立てる。

また、リバーカヤックツアー及び沢登りツアーに関しては毎回、気象、水面の状態、気象警報・注意報の有無などのデータを蓄積し、状況判断などの技術向上に役立てる。

4. 事故発生時の対応

事故が発生した場合は迅速かつ的確に対応すること

◆緊急時の対処について

- ① まずは落ち着く。ガイド及び他の参加者の安全の確認。
- ② 屋久島観光協会ガイド部会作成ガイド手帳に従い対応する。

事故者の観察 → 応急処置 → 重症の場合は至急救急車を要請（屋久島警察署 0997-46-2100、北分遣所 0997-42-0119、南分遣所 0997-47-2125）

注意事項

- 事故の状況から経過までメモをとる。
- 通報の確認は多くの第三者立ち合いのもと行う。
- 無線を中継する場合にはなるべく少人数で行う。
- グループのお客様へのケアを忘れずにツアーを中断する場合は一時断りを入れる。
- 救急隊員が到着するまで負傷者の状況をなるべくメモをする。
- 事故車の体力、症状が回復して自力下山できる場合はできるだけ早く救急隊に連絡する。